

市議会だより



主な掲載内容

- ◎第5回定例会の概要……………2～3
- ◎一般質問……………4～9
- ◎令和2年の市議会の状況……………9
- ◎委員会審査……………10
- ◎各会派の構成……………11
- ◎議案等審議結果……………12

NO. **277**
 2021.1.31
 発行 高崎市議会
 編集 広報委員会
 高崎市高松町35番地1
 TEL 027(321)1281

園児によるうどん作り (市立南八幡幼稚園)

令和2年度一般会計補正予算を可決

令和2年第5回定例会は、下記の日程により15日間の会期で開かれました。
 本定例会では、令和2年度の一般会計・特別会計の補正予算などの議案43件を
 原案のとおり可決し、監査委員と人権擁護委員候補者の人事案件に同意しました。
 請願1件は不採択、意見書1件は可決となりました。
 また、21人の議員が市政に対し一般質問を行いました。



改築工事が完了した箕輪小学校の新校舎

11月30日(月)	議案上程、提案説明(ほか)
12月2日(水)～4日(金)	一般質問II(*詳しい内容はP4～9)
12月8日(火)、9日(水)	委員会審査(*詳しい内容はP10)
12月14日(月)	付託された議案等の委員長報告～議決(ほか(*審議結果はP12))

本定例会で可決した主な議案

**令和2年度 一般会計補正予算
 歳入歳出41億6726万円の減額**

一般会計の総額から歳入歳出それぞれ41億6726万円を減額し、予算の総額を2094億5192万円とする。

主な内容

■高浜クリーンセンター建設事業 ▲57億3399万円

新型コロナウイルス感染症の影響により、プラント設備設計及び建築設計との調整をはじめ、事業の全体計画を見直したため、今年度分を減額する。

■ひとり親世帯臨時特別給付金 1億7221万円

ひとり親世帯の生活支援として8月に給付した臨時特別給付金を再度支給する。

■医療提供体制整備補助金 1億2600万円

インフルエンザとの同時流行に備え、新型コロナウイルス感染症の診療・検査体制を強化するため、助成金等を支給する。



さらなる医療体制の整備を

同意した人事案件

● 監査委員

おりた けいた
折田 慶太 氏

● 人権擁護委員候補者

ながの のぶみち
長野 信道 氏

請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 学校給食費の無料化を求めることについて

可決した意見書

下記の意見書を国の関係機関などに提出しました。詳しい内容は、市議会ホームページをご覧ください。

- 犯罪被害者支援の充実を求める意見書



雨水排水路整備工事の変更

令和元年12月12日に議決した、中央第二土地区画整理事業雨水排水路整備工事の請負契約について、地盤改良が必要となったため、契約内容を変更する。

■ 契約金額 1020万円の増額

■ 竣工日 令和3年3月19日に延期

高崎市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

野球場、多目的広場、遊具広場、休憩施設を備えた吉井中央公園が今年度末に完成する（野球場を除く）ため、条例を改正し、設置する。

■ 施行期日 規則で定める日



吉井中央公園の完成予想図

高崎市市営住宅の設置及び

管理に関する条例の一部改正

市営住宅の入居手続において、連帯保証人を不要とするため、改正する。

■ 施行期日 令和3年1月1日

市政を問う

一般質問

議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求めたり質問したりすることをいい、毎定例会で行われます。

一般質問のあらましを質問者順に掲載しています。 ※会派は、令和2年12月現在で掲載しています。



**新型コロナウイルスワクチン
带状疱疹ワクチン**
新保 克佳
(公明党)

質問 国は新型コロナウイルスワクチンの集団接種を検討しているが、市の役割と体制構築の予定は。

答弁 ワクチン供給が可能となった場合の市の役割として、医療機関との委託契約、接種費用の支払い、接種券の個別通知などが国から示されている。集団接種の実施には、場所や医療従事者の確保など、現時点では未確定な部分もあるため、今後示される国や県の具体的な対応方針に基づき、医師会などと連携しながら準備を進めていく。

質問 带状疱疹ワクチンを本市で定期接種に位置付け助成する考えは。

答弁 带状疱疹ワクチンは、50歳以上の人が任意の予防接種として受けることができ、費用の一部を助成している自治体もある。現在、国では带状疱疹ワクチンの有効性、安全性および費用対効果などに関するデータ収集を行い、定期予防接種化を検討している。助成については、他市の状況を参考に、国の動向も注視しながら研究していきたい。



**気候変動を踏まえた
本市の浸水対策**
大河原 吉明
(新風会)

質問 地球温暖化の影響と考えられる大雨による浸水被害への対策の現状と今後の対応は。

答弁 本市では、過去に浸水被害のあった地区の雨水排水の改善を図るため、計画的に**管渠**の整備を行っている。近年では、中居町や下之城町、宮原町に管渠を



敷設した。今後は、上大類町や新町についても計画的に整備を行っていく予定である。

また、危険箇所総点検をはじめ、過去に道路冠水や浸水被害のあった箇所とその周辺を調査し、雨水を速やかに排除できるような水路や道路側溝に詰まったご



**ニューノーマル時代における
本市のブランド力の向上**
青木 和也
(新風会)

質問 コロナ禍におけるイベントの開催について、本市の考えは。

答弁 コロナ禍の影響により、首都圏でのイベントは集客効果に懸念があるなど、開催は難しい状況である。一方で、人が集まり、消費を促すための仕掛けづくりは重要であり、高崎光のページェントやアートプロジ

みや、堆積した土砂の除去などを実施している。特に井野川沿川では、雨水を一時的に貯留する調整池や新たなバイパス排水路を整備し、浸水被害の軽減を図った。



今後、危険箇所総点検や日常点検などを継続的に実施し、必要な対策工事や河川内しゅんせつ等を河川管理者に要望することによって浸水対策に努めていく。



市の魅力を発信するSNS

質問 ニューノーマル時代の移住促進策と今後の取り組みは。

答弁 本市では、これまでもSNSを活用し、移住に関する施策や住環境などの魅力の発信に努め、ブランド力の向上に取り組んできた。コロナ禍においては、首都圏から地方に移住する人が増加すると見込まれていることから、移住を検討する人に本市の魅力や支援策が伝わるよう、リモートでの移住相談など、効果的かつ的確に情報発信する手法を研究したい。



管渠 水路の総称。



しゅんせつ 河川や港湾などの水底の土砂を取り除き、水深の維持を図ること。



子ども・子育て支援 荒木 征一
市職員の職務 (市民クラブ)

質問 国の制度である**処遇改善等加算**により、本市の保育士に対する**処遇**はどの程度改善しているか。

答弁 国による**処遇改善等加算**は、平成25年度から段階的に実施されている。資質の向上や労働環境の整備を進める施設に対する加算では、職員1人当たりに換算して月額1万8千円程度、保育士の技能や経験に応じた加算では、対象職員1人当たり換算して月額2万6千円程度の改善が図られている。

質問 病気療養等により**年次有給休暇**が不足する場合、職員間での**休暇の融通**を認める考えは。

答弁 年次有給休暇制度は、労働者の心身の疲労を回復し、ゆとりある生活を保障することを目的として、個々の職員に付与されるものであるため、職員間での融通は制度の趣旨に沿わないと考える。事情を抱える職員にとって、仕事と家庭を両立しやすい職場環境の整備に今後努めたい。



温暖化防止対策 中村 さと美
小・中学生の通学かばんの重さ対策 (公明党)

質問 市庁舎や公共施設のLED化を推進する必要があると考えるが、本市の現状と今後の考えは。

答弁 市有施設の新築や建て替えの際には、LED照明をはじめ、省エネ設計の機器を導入している。また、既存の施設は、**安定器**などの照明機器が寿命を迎えた時にLEDに切り替えてい



る。今後も、LED化の推進に向けて、電気料の削減効果や導入の初期費用がからないレンタルサービス等も含めて研究したい。

質問 小・中学生の通学かばんの重さ対策とGIGAスクール構想による効果は。

答弁 市教育委員会では、計画的な学習用具の持ち帰りや、家庭学習での使用頻

度が低い教科書や副教材の学校保管など、柔軟な対応をするよう各学校に指示している。また、GIGAスクール構想の導入により、



コロナ禍における小・中学校の現状

後藤 彰 (新風会)

質問 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行への対策は。

答弁 市教育委員会では、文部科学省のマニュアルに基づき、校内での3密回避、教室内の換気や適度な湿度の保持など、基本的な感染症対策の徹底を各学校に周知している。また、各学校では、児童・生徒の検温を健康記録表への記入やバラ

教科書や副教材がデジタル化することで、かばんの軽量化が図られる可能性はあると思われる。



作戦の実施状況は。

答弁 各学校では、夏季休業日の短縮や学校行事の精選により、授業日の確保に努めるとともに、指導内容の重点化を図った指導計画を作成し、各学年の学習内容を年度内に終えるよう授業を進めている。また、学力アップ大作戦は、全ての学校でボランティアの人々と調整しており、一部を除き再開している。



より良い教育環境 堀口 順
産業振興とコロナ禍における支援体制 (市民クラブ)

質問 GIGAスクール構想におけるICT教育では、教員への支援の充実が必要と思うが、市の考えは。

答弁 現在、各学校では高速通信ネットワークと充電保管庫の工事を行っており、タブレット端末の配備と合わせて、年度内の利用を指している。環境整備が進む中、全ての教員が安心してタブレットを活用できるように、教員研修の実施やICT支援員の派遣など、教員のサポートに努めたい。

質問 コロナ禍における商

工業業者への相談体制をさらに充実させる予定は。

答弁 高崎商工会議所が限定的に開設している経営相談所では、国が行う給付金の相談などを受けている。来年度以降も支援を継続し、相談所の機能を充実・強化するため、市職員を出向させ、市の施策も案内できる総合的な窓口を開設することとした。今後、ジェトロや専門家の協力を得ながら発展させ、引き続き事業者支援に取り組んでいく。



●**処遇改善等加算**

賃金体系の改善により、保育士の確保を目的とした制度。一定の条件を満たした保育所（公立を除く）に支給される。

●**安定器**

蛍光灯が安全かつ安定して光源として利用できるように、電流・電圧を制御する部品。



地方創生
ジェンダー平等社会の実現
三島久美子
(無所属)

質問 コロナ禍における本市の地方創生について、ICTを活用した取り組みは。

答弁 地方創生への取り組みを推進する中で、ICTの活用も有効だと認識しているが、直接顔を合わせ、ぬくもりを感じられることも重要な要素だと考えている。本市としては、コロナ禍における生活様式の変化などを踏まえ、さまざまなツールを活用し、感染予防対策を徹底しながら、地方創生の取り組みを引き続き推進していきたい。

質問 性的少数者のパートナーシップ制度を導入するべきと考えるが、本市の方針は。

答弁 令和2年10月時点では、全国で60の自治体が導入しており、県も年内の導入を発表した。この制度は人権に関わるため、自治体によって対応が異なるべきものではないと認識している。そのため、現時点では導入予定はないが、今後の国の検討状況や取り組みを注視したいと考えている。



スケートボード人口増加に伴う今後の取り組み
清水明夫
(新風会)

質問 吉井運動公園はスケートボードが可能であるが、その利用状況は。

答弁 8月に約180人、9月に約420人、10月に約640人、11月には約740人と多くの人が利用している。

また、吉井運動公園のローラースケート場で活動する有志により設立された高

崎スケートボード協会が体験会を開催し、市内の小学生38人が参加した。

質問 禁止しているにもかかわらず、スケートボードをされている場所は。

答弁 金古運動広場や宇津木スタジアムの駐車場、城址公園の周辺などでスケートボードの使用が散見される。施設利用者の安全を確



交通弱者に対する移動支援
林恒徳
(市民クラブ)

保するため、多くの施設でスケートボードの使用を禁止しているほか、道路交通法により道路での使用も禁止されている。そのため、

質問 おとしよりぐるりんタクシーを他の地域へ展開する考えは。

答弁 高齢者等の交通弱者への足の確保は、本市においても重要な課題であることから、高齢化率の高い地域に注目し、倉淵、榛名、吉井地域から本事業を開始した。今後のルートの見直しや拡大については、地域からの要望や財政状況などを注視しながら検討してい



おとしよりぐるりんタクシー

看板等が設置可能な場所には、スケートボード使用禁止の看板を設置し、注意を呼び掛けている。



きたい。

質問 高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業の今後の展望は。

答弁 本事業は、生鮮食料



人と動物が共生できる環境づくり
丸山寛
(公明党)

質問 多頭飼育の苦情と動物虐待の通報件数は。また、その現状と対策は。

答弁 昨年度は、多頭飼育の苦情が12件、動物虐待が18件あった。動物虐待の多くは多頭飼育の現場で発見され、ふん尿の掃除をしていないなど、不衛生な環境で飼われている事例が多い。

本市では、多頭飼育の中で不妊去勢手術をせず放し飼いにしていた事案を解決した事例があり、今後も早い段階での対応を心掛け、粘り強く対処したい。

品等の購入が困難な地域において、親族等からの支援を得られない1人暮らしの高齢者等がタクシーに乗り合いで買い物に行けるよう支援する町内会に対し、市がタクシーチケットを交付する事業である。現在は、5町内会で23人が利用している。



今後も、高齢者の買い物支援を行う町内会に対し、引き続き支援を行いたい。

質問 避難所におけるペットの取り扱い。

答弁 本市では、ペットを同行しての避難を可能とし、飼育者の責任の下、体育館などの軒下において、リードの装着やケージ内での管理をお願いしている。なお、補助犬を除き、避難スペースへの入室は原則断わっている。今後、車中避難所の選定を進めるとともに、ペット同伴型避難所についても他市の事例を参考にしながら研究していきたい。





高齢者の移動支援の新たな仕組み 子どもが気軽に利用できる公民館

谷川 留美子
(無所属)

質問 おとしよりぐるりんタクシーの路線を拡大する考えは。また、高齢者の移動支援として福祉ムーバーを導入し、連携する考えは。

回答 高齢者等の交通弱者への足の確保は重要な課題と考え、高齢化率の高い地域から事業を始めた。他の地域への路線拡大は、地域からの要望や財政状況などを注視しながら検討したい。

また、福祉ムーバーは、市内の団体で実証実験中であるため、引き続き情報収集に努め、事業の効果など



について研究していきたい。
質問 子どもが気軽に利用でき、地域の人々に見守られながら過ごせる公民館の活動を促進する取り組みは。

回答 昨年度は、地域に住む元教員が宿題を指導する放課後宿題教室を東公民館で開催した。また各市立公民館では、昔の遊びを体験する教室などを実施し、子どもと地域の大人の世代間交流を図っている。今後も、地域全体で子どもたちを育てる環境づくりに努めたい。



特定家畜伝染病対策

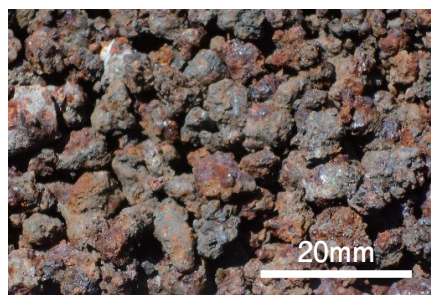
樋口 哲郎
(新風会)

質問 CSF（豚熱）の発生による防疫措置の経過と内容は。また、現場での本市の支援体制は。

回答 9月26日にCSFの陽性が確定し、豚の殺処分が開始された。10月1日に殺処分が終了し、9日に消毒作業を含めた全ての防疫措置が完了した。市は、県が主体となって行う防疫措

置の支援として、現地事務所の開設に伴う施設や備品の管理、係員の健康観察、住民説明会の設置を行った。一連の防疫措置に市職員300人以上が従事した。

質問 西日本で鳥インフルエンザの発生が増えているが、本市の養鶏農家数と飼養羽数は。また市の対策は。
回答 令和2年6月現在の



非鉄スラグの例

本市の養鶏農家数は21戸で、飼養羽数は351万6千羽である。本市では、県と連携して野鳥の検査体制を整え、るとともに、市内の養鶏



有害スラグ撤去に向けた取り組み

依田 好明
(日本共産党)

質問 住宅の敷地などに使用された有害スラグを早期に撤去すべきと考えるが、現在の撤去状況は。

回答 非鉄スラグの使用が確認された市内103カ所のうち、11月末時点で83カ所の撤去作業が完了している。残りの使用箇所についても、立入禁止や注意喚起の措置が講じられており、関係者からは、個人宅等の私有地を優先して、順次撤

場に対し、防鳥ネットの点検や鶏舎の整備、消毒の徹底など、さらなる防疫対策の強化を依頼している。



去・回収等を進めるとの報告を受けている。

本市では、使用箇所に対して必要な対策を速やかに講じるよう、関係者に引き



児童虐待の防止

白石 隆夫
(新風会)

質問 こども救援センター開設後1年間の相談状況は。
回答 令和元年10月1日に開設したこども救援センターへの相談は、2年10月末までに1629件あり、その内、児童虐待として受理した件数は273件である。開設前と比較し、それぞれ286件、69件増加した。

質問 本市独自の児童相談所を開設するための進捗状況は。また、開設による児童虐待への対応の変化は。
回答 本年度から、こども救援センターに企画担当を

続き指導していく。
質問 松之沢メガソーラーや榛名山中腹の資材置場にある有害スラグの撤去計画書は提出されているか。

回答 関係者から当該地域の非鉄スラグの撤去計画書が提出された。市では、計画書の内容を精査するとともに、引き続き撤去・回収等の対策を講じるよう非鉄スラグの全面的な撤去に向け、適切な指導を行いたい。



設置し、他の自治体の児童相談所への視察や聞き取りなど、児童相談所の設置に向けた調査を開始した。また、他市の児童相談所に職員を派遣し、実務経験と知識の習得に努めている。

児童相談所を整備することにより、親の同意がなくても児童を一時保護できる権限などが付与され、本市独自の「行動する児童相談所」として、高崎市の子どもは高崎で守るといふ体制が整備できると考えている。





環境政策の推進

みつよし のぶひで
三井 暢秀
(市民クラブ)

質問 高齢者ごみ出しSOSの利用状況は。また、利用者からの反応は。

答弁 本事業は9月1日に開始し、11月末現在の申請件数は、高齢者世帯676件、障害者世帯42件、子育て世帯13件である。利用者からは、収集員が丁寧に対応してくれる、幼い子を一人にする心配がなくなったなどの声があり、高い評価を得ている。今後も、利用者の声を聴きながら研究を重ね、着実に推進したい。

質問 地域マイクログリッドの取り組みを推進する考えは。

答弁 地域マイクログリッドは、地域の再生可能エネルギーを地域内で活用し、災害等による停電時には独立した電力供給が可能なことから、エネルギーの地産地消と非常時のエネルギーの確保に効果的とされている。構築には、発電事業者などの関与が必要となるため、国が構築するモデル事例を参考にしながら研究していきたい。



産業廃棄物の処理

まるやま よしのり
丸山 芳典
(新風会)

質問 一般廃棄物と産業廃棄物の違いは。また、市内の産業廃棄物処理施設の許可業者数と業者への指導は。

答弁 産業廃棄物処理法において、事業活動に伴って生じた廃棄物20種類を産業廃棄物とし、それ以外は一般廃棄物と定めている。また、市内には、37の許可業者があり、不適切な取り扱いが

確認できた場合は、行政指導を行い、生活環境の保全などに努めている。

質問 本市と警察の連携により、不法投棄した者が逮捕されたが、本市が行った調査は。また不法投棄物の今後の対応と現状の対策は。

答弁 平成28年以降、山間部への不法投棄を23件確認した。市では、監視カメラ



の設置等を行い、不法投棄を行う車両を特定したため、警察に情報提供を行った。今後は、不法投棄物の撤去が完了するまで、指導・



新型コロナウイルス対策

いとう たかひろ
伊藤 敦博
(日本共産党)

質問 新型コロナウイルスによる入院患者が増えているが、現在の陽性患者の保護と治療体制は。

答弁 陽性患者の入院は、県の病院間調整センターが病状に応じて調整している。本市では、協力医療機関に対して医療物資の配布や設備整備費の支援を行っており、陽性患者の病床を整備する病院が増えるなど、医療提供体制の充実が図られ



協力医療機関に配布した医療物資

監視を行っていくとともに、引き続き、関係団体とパトロール等の不法投棄撲滅に向けた対策を実施していく。



質問 日米共同訓練の概要は。また、市民の安全を守



だるま市の開催

ときた ひろゆき
時田 裕之
(新風会)

質問 だるま市での新型コロナウイルス感染防止策は。

答弁 来場者にはマスクの着用などを依頼し、入場口で検温を行うほか、消毒液を噴霧する消毒ゲートを新たに設置する。また、市の職員と警備員が協力し、行列の整理を行うとともに、飲食テーブルや巡回バスの車内などをこまめに消毒する。さらに、だるまなどの販売者とイベント出演者約400人にPCR検査を実施するほか、健康チェックシートを提出させる。また、

るための対応は。
答弁 陸上自衛隊と米海兵隊が相馬原演習場において実動訓練を行うもので、オスプレイの参加が予定されている。また、訓練に参加する隊員は、感染症対策を講じることとされている。本市では、飛行訓練に当たり、市街地など住宅密集地の上空を避け、飛行時間や飛行高度についても十分配慮するよう国に要請した。





第8期介護保険料 本市独自の高齢者支援策

さかせがわ よしひこ
逆瀬川 義久
(公明党)

質問 介護保険料の抑制に介護保険基金の活用が効果的だと思つが、現在の基金残高は。また、第8期計画における保険料の見込みは。

答弁 令和2年10月末現在の基金残高は、約20億円である。保険料は計画期間中に必要となる介護給付費見込額などを基に算出するが、介護サービスを低下させることなく介護給付費の適正化を行うとともに、基金の有効活用により、保険料を可能な限り抑えていきたい。

質問 本市で実施するさまざまな高齢者支援策について、さらなる周知徹底を行う考えは。

答弁 介護SOSサービスやあんしん見守りシステムなど、本市独自の施策を展開しており、サービスごとの周知に努めている。今後は、高齢者がいざという時に適切なサービスを利用できるような、各種サービスの使い方や連絡先を一覧にしたチラシなどを作成し、訪問の際に配布するなど、工夫していきたい。



コロナ禍での子育て支援

おの さとこ
小野 聡子
(公明党)

質問 オンラインを活用して両親学級を再開する考えは。また、宿泊型の産後ケアに対する本市の見解は。

答弁 オンラインによる両親学級は実施していないが、ホームページから沐浴方法の動画などを閲覧可能とした。今後は、感染症対策を徹底した上で、対面での再開を考えているが、オンラ

インの活用も研究していく。また、本市では、日帰り型と訪問型の産後ケア事業を実施している。宿泊型については、医療機関における人員確保や設備の充実が必要となるが、コロナ禍により、環境整備が難しい状況である。今後は、感染状況を確認しながら、他の自治体の取り組みも参考に研



さらに詳しい内容は会議録で

市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については2月上旬に公開予定です。

- 市民情報センター（市役所1階）
- 高崎市立図書館（本館及び地区館）
- 倉淵公民館図書室



令和2年 市議会の状況

令和2年中に開催された本会議や委員会等の開催状況と視察の受け入れ状況をお知らせします。

本会議

※1月12日現在の閲覧数です。

区分	会期	会期日数	会議日数	一般質問者数	傍聴者数	インターネット中継閲覧数※
第1回定例会	2月25日～3月18日	23日	8日	23人	69人	2,435件
第2回臨時会	5月19日	1日	1日	—	1人	497件
第3回定例会	6月10日～6月24日	15日	4日	14人	19人	1,952件
第4回定例会	9月11日～10月2日	22日	5日	22人	45人	1,527件
第5回定例会	11月30日～12月14日	15日	5日	21人	35人	1,159件
計		76日	23日	80人	169人	7,570件

委員会等

区分	会議等開催回数	付託議案等の数	
		議案	請願
常任委員会	44回	114件	5件
特別委員会	13回	5件	—
議会運営委員会	35回	—	—
各派代表者会議	17回		
広報委員会	5回		

視察受け入れ

本市が先進的に取り組んでいる事業について全国から視察がありました。令和2年2月5日以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により受け入れを中止しています。

受入団体数	6市区町村議会等	受入人数	26人
主な視察内容		件数	
空き家緊急総合対策		4件	
まちなか商店リニューアル助成		1件	
介護SOSサービス		1件	
くらぶち英語村		1件	



● **両親学級** …… 出産を控えた夫婦が、出産や育児に関する正しい知識を学ぶ場。

● **産後ケア事業** …… 産後の体調不良や育児に対する悩みがある人などを対象に、体調管理や育児のサポートを行う事業。

委員会審査

各常任委員会および環境施設建設特別委員会において、付託された議案などを審査しました。
質疑・答弁の一部を掲載します。

総務常任委員会

質疑 ふるさと応援基金寄附金が増額した要因は。
答弁 新型コロナウイルス感染症の影響で在宅時間が増え、ふるさと納税に目を向ける人が増えたことと、各種プロモーションの展開や特徴的な施策の実施によって本市の知名度が上がり、本市に関心を持ち、ふるさと納税サイトを検索する人が増えたのではないかと考えている。

質疑 修学支援新制度の対象者が増えた要因は。
答弁 国や大学事務局による周知などによって、多くの学生が申請したことが理由として考えられる。また、修学支援新制度は、給付型奨学金を組み合わせた制度のため、より多くのニーズがあり、多くの申請につながったことも要因の一つではないかと考えている。

市民経済常任委員会

質疑 治山事業の内容は。
答弁 森林に起因する災害から森林の機能などを守るために行う事業であり、土砂の流出を抑制する治山ダム湖や山腹崩壊の拡大を防止する工事など、さまざまな対策を講じている。また、災害などによる崩落地などの復旧工事も治山事業として位置付けられている。

本年度の事業は、高崎地域の乗附町地内、吉井地域の多比良、多胡、大沢地内、箕郷地域の富岡地内、榛名地域の間野地内、倉淵地域の川浦地内を対象で、市内10カ所を予定している。



治山事業により施工された治山ダム

教育福祉常任委員会

質疑 障害者福祉費のロボット等導入支援事業補助金の内容は。
答弁 障害者施設の職員の負担軽減を図るため、ロボットスーツや介護リフトの導入費を国が補助する事業である。



ロボットスーツを装着する様子

質疑 医療提供体制整備補助金の内容は。
答弁 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行期に備え、市に協力いただいている病院に、発熱患者を診療する医師の件費などを補助する。さらに、感染症対策を行う診療所や電話などで健康相談に応じる薬局などに感染症対策費を補助する。

建設水道常任委員会

質疑 市街地再開発事業費のパブリックゾーン設計等委託料の委託内容と整備する施設の内容は。
答弁 委託内容は、高崎駅東口栄町地区の再開発事業において、市有施設として整備するパブリックゾーンの基本設計を行うものである。

整備する施設は、子どもたちの豊かな創造性や健やかな成長を育むことのできるような屋内の遊び場、子ども図書館、市民の文化活動や市の経済活動をサポートする会議室、研修室などを予定している。

環境施設建設特別委員会

質疑 高浜クリーンセンター建設事業が減額となることで、工事スケジュールへの影響は。
答弁 建設工事の期間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和5年度から6年度までに延長したいと考えている。また、プラント設備工事についても、6年度までに変更したいと考えている。

質疑 現在の高浜クリーンセンターについては、使用期間が延長されることになるが、その間のメンテナンスは。
答弁 日々の点検やメンテナンスをしっかりと行い、安全で確実な運営をしていきたい。

各会派の構成

「会派」とは、同じ理念や考え方をを持った議員同士のグループで、3人以上で交渉会派となります。所属する議員数に応じて、各派代表者会議や議会運営委員会などのメンバーが選出されます。

◆新風会 (23人)

会 長 田中治男
副 会 長 柄沢高男
幹 事 長 松本賢一
幹 事 長 石川徹
副 幹 事 長 後藤彰
政 調 会 長 白石隆夫
副 政 調 会 長 飯塚邦広
議 会 対 策 委 員 長 時田裕之
会 計 片貝喜一郎
広 報 計 清水明夫
顧 問 後閑太一
柴 田 和 正
柴 田 正 夫
丸 山 和 久
渡 邊 幹 治
後 閑 賢 二
根 岸 赴 夫
大 竹 隆 一
長 壁 真 樹
丸 山 芳 典
樋 口 哲 郎
大 河 吉 明
青 木 和 也

◆市民クラブ (6人)

会 長 高橋美奈雄
副 会 長 堀口順
幹 事 長 林恒徳
政 審 会 長 中島輝男
会 計 補 佐 三井暢秀
荒 木 征 二

◆公明党 (5人)

会 長 逆瀬川義久
幹 事 長 丸山克寛
政 調 会 長 新保克佳
副 政 調 会 長 小野聡子
会 計 中村さと美

◆日本共産党 高崎市議会議員団 (2人)

団 長 伊藤敦博
副 団 長 依田好明

◆無所属

◆無所属

(令和3年1月1日現在)

三島久美子
谷川留美子

市議会の予定

2月		定例会
22日(月)	午後1時	開会、会期の決定、施政方針など
24日(水)	午後1時	議案の提案説明
25日(木)	午後1時	総括質疑
26日(金)	午後1時	一般質問
3月		
1日(月)	午後1時	一般質問
2日(火)		
3日(水)		
8日(月)	午前10時	総務常任委員会
9日(火)	午前10時	教育福祉常任委員会
10日(水)	午前10時	市民経済常任委員会
11日(木)	午前10時	建設水道常任委員会
17日(水)	午後1時	委員長報告、提出議案等の議決、閉会

議会を見てみよう

本会議の様様をライブ中継や録画配信しています。市議会ホームページの「議会中継・会議録検索システム」からアクセスしてご覧ください。
スマートフォンやタブレット端末からもご利用いただけます。



